

■岩波茂雄 (岩波書店)を創業、定価販売や造本・校正などで信頼を獲得、文庫・新書などの創案で出版界をリード。

いわなみしげお

明治14年政変1881＝ 長野県諏訪郡中洲村に生れる。

国民之友始・1887＝ 6歳：中洲村の尋常小学校に入学。

帝国憲法発布1889＝ 8歳：

帝国議会始・1890＝ 9歳：

足尾鉍毒始・1891＝10歳：中洲村の高等小学校に入学。

日清戦争始・1894＝13歳：

日清戦争終・1895＝14歳：諏訪実科中学校に入学、

白馬会・・・1896＝15歳：父が死去し、家督を相続。

八幡製鉄始・1897＝16歳：村の伊勢講総代となり、単身伊勢詣でに出、

子規句歌革新1898＝17歳：京都で郷里の先輩佐久間象山の、鹿児島で西郷南洲の墓参りして、帰郷。日本中学校長杉浦重剛を慕い、

Bushidou・・・1899＝18歳：卒業。親戚の反対を慮り、母の密かな諒解のもと、出奔して上京、日本中学5年に編入。

ピアノ国産化・1900＝19歳：卒業して、第一高等学校を受験するが、不合格。神経衰弱になり、内村鑑三のメンバーとなる。

田中正造直訴1901＝20歳：再び受験して合格し、入学。ボート部に入り、後主力選手。足尾鉍毒事件に関心を持ち、現地視察。

教科書疑獄・1902＝21歳：一高生の名誉を傷つける談話を載せた女子美術学校長を訪問して、謝罪させる。

日比谷公園・1903＝22歳：人生問題に悩んで、野尻湖の島に籠もる。母の訪問を受け、島を出、遠泳などに挑戦して脱する。

日露戦争始・1904＝23歳：2年続けて落第したため、除名・退学となる。赤石ヨシ宅に下宿。

日露戦争終・1905＝24歳：東京帝国大学哲学科選科に入り、倫理学を学んだ。

韓国反日暴動1907＝26歳：赤石ヨシと結婚。妻の内職で生活。

アヲチ創刊・1908＝27歳：徴兵検査丙種合格。母が死去。東京帝国大学を卒業。長女が誕生。

伊藤博文暗殺1909＝28歳：神田高等女学校の教師となる。

大逆事件判決1911＝30歳：学友たちと立山踏破、以後、度々登山。次女が誕生。

明治天皇没・1912＝31歳：

大正政変・・・1913＝32歳：**\*思うところあって退職し、東京神田に古本屋(岩波書店)を開業。**

第一次大戦始1914＝33歳：三女誕生。夏目漱石の知遇をうけ「こゝろ」を出版、本格的に出版業に転じ、

21ヶ条要求・1915＝34歳：**以降3年間にわたって「哲学叢書」を刊行。定価販売を励行して信用を得る。**

民本主義・・・1916＝35歳：店舗と住居を分離。長男誕生。「音楽叢書」を刊行。**漱石が死去すると、**

ロシア革命・1917＝36歳：**\*以降3年間にわたって「漱石全集」を刊行。{思潮}創刊。名著を続々発刊し、優秀な社員も得、**

**内容はもとより造本、校正などの厳密な出版社として高く評価されるまでに育て上げる。**

ベルリン条約・1919＝38歳：次男誕生。\_{思潮}廃刊し、

原敬首相暗殺1921＝40歳：四女誕生。\_{思想}創刊。

水平社結成・1922＝41歳：落馬して重傷、入院。\_{岩波哲学辞典}を刊行。

関東大震災・1923＝42歳：**震災で、店舗・倉庫・工場・商品のすべてを失うが、店員・家族はすべて無事、再建して、開業。**

護憲三派圧勝1924＝43歳：**多額納税者となる。**

**以後も、講座や叢書を次々と企画し、予約販売を行うなど、出版界の先頭を走り、**

日本時代始・1926＝45歳：会計制度を確定し、複式簿記を採用。

金融恐慌・・・1927＝46歳：**\*{岩波文庫}を創刊、多くの読者から支持される。**

共産党事件・1928＝47歳：郷里の中洲村の水道敷設に寄付。\_書店で労働争議が起こるが、解決。{思想}休刊。

世界恐慌・・・1929＝48歳：初めて発売禁止を受ける。

海軍軍縮条約1930＝49歳：大倉書店から訴えられていた事件が和解。

満州事変・・・1931＝50歳：「科学」創刊。

国際連盟脱退1933＝52歳：「文学」「教育」創刊。\_{岩波全書}を発刊。ミレーの種まき図をマークとする。

帝人疑獄事件1934＝53歳：開業20周年を記念して、以後毎年、学界・教育・国家に貢献した人に賞金を出す。

芥川直木賞始1935＝54歳：欧米巡遊旅行。

日中戦争始・1937＝56歳：内山完造を通じて、「魯迅文学獎金」に千円を寄付。

健保+総動員 1938＝57歳：**\_岩波新書を発刊するが、**

**戦争の拡大とともに、言論統制は古典や学術書にまで及び、同書店でも多くの文庫や単行本が重版不可能または発売禁止となって行き、**

大政翼賛会・1940＝59歳：紺綬褒章。学術奨励のため、100万円を投じて、財団法人「風樹会」を創設。\_津田左右吉の「古事記及日本書紀の研究」「神代史の研究」までが発禁となり、著者とともに発行者岩波も起訴されるという苦難の時期を送るも、学問尊重の編集方針を終始くずすことがなかったが、営業が次第に困難になって行くなか、

日米開戦・・・1941＝60歳：

年金+総武装 1944＝63歳：祝賀会に出た折、**\*発病し、**

敗戦・・・1945＝64歳：長男が病没。貴族院議員。長野県での葬儀に出席した折、**脳溢血で倒れ、静養。**

新憲法公布・1946＝65歳：{世界}を創刊。\_出版人として初の文化勲章をうけてまもなく、再び脳溢血を起こして、没した。